

# 救心感應丸<sup>®</sup> 氣

第2類医薬品

《救心感應丸 氣》は、日本の伝統的な処方をもとにした和漢薬で、精選した麝香、牛黄等の七種の動植物生薬と、熊胆の主要成分であるウルソデオキシコール酸を配合した製剤です。

不安や緊張でドキドキしたときや、胃腸が弱くストレスや冷えからすぐに下痢をする方、旅先で体調をくずしたときの気つけなどにすぐれた効きめを現します。

## ⚠ 使用上の注意

### ❌ してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕  
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと

他の強い心薬



### 相談すること

一、次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- （一）医師の治療を受けている人
- （二）妊婦または妊娠していると思われる人

二、服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状       |
|------|-----------|
| 皮膚   | 発疹・発赤、かゆみ |

三、五～六日間（胃腸虚弱、消化不良については1カ月間）服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

## 【効 能】

### ○ 気つけ

気つけは、疲れて元気がないときに気力を回復させたり、暑さなどで頭がボーッとしたり、めまいや立ちくらみがしたときのような一種の脳貧血状態を改善することです。

### ○ 息切れ ○ どうき

息切れやどつきは、貧血や肥満、疲労等でおこることもあります。が、わずかな運動でも感じたり、運動後も長く続くのは、心臓の働きが悪くなっていることが考えられます。

### ○ 胃腸虚弱 ○ 消化不良 ○ 下痢

人参、沈香、動物胆、ウルソデオキシコール酸等が消化を助け、弱った胃腸の働きを回復させます。また、腸内の異常な腐敗、醗酵を抑え、下痢に効果を現します。

## 【用法・用量】

食前または食間に水またはお湯で服用すること

| 年 齢       | 一 回 量   | 服用回数    |
|-----------|---------|---------|
| 大人（十五才以上） | 三 粒     | 一 日 三 回 |
| 十一～十四才    | 二 粒     |         |
| 八～十才      | 一 粒     |         |
| 八才未満      | 服用しないこと |         |

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること

## 【成分】

九粒中、次の成分を含みます。

麝香五mg、（日局）牛黄一〇mg、（日局）人參七五mg、羚羊角末一〇mg、沈香一〇mg、龍腦一〇mg、動物胆三〇mg、（日局）ウルソデオキシコール酸一〇mg

添加物としてパラベン、トウモロコシデンプン、寒梅粉、アラビヤゴム、カルメロース、薬用炭を含有します。

## 〈主要成分の作用と特長〉

**麝香** 麝香鹿の腺分泌物で、呼吸機能を高め、強心効果を現します。

**牛黄** 牛の胆のう中にごくまれに発見される褐色の小球塊で、心臓の拍動を強めます。

**人參** 薬用人參の根を乾燥したもので、強壮作用により気力を高め、健胃、消化、整腸作用等を現します。

**沈香** ジンチョウゲ科の常緑高木の木部に樹脂が沈着した部分を採取したもので、芳香があり、気を整える作用があります。

## 【保管および取扱上の注意】

（一）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること

（二）小児の手の届かない所に保管すること

（三）他の容器に入れ替えないこと

（誤用の原因になったり品質が変わる。）

（四）使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または左記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

〈電 話〉〇三ー六八六ー一九四九四

〈受付時間〉九時～十七時（土、日、祝日、弊社休業日を除く）

東京都杉並区和田二丁目二十一番七号  
**救心製薬株式会社**